

ブラジル財務相、外国人投資家の債券投資に係る金融取引税の6%への引き上げを発表

HSBC投信株式会社

マンテガ財務相の発表内容

10月18日(月)、マンテガ財務相は、外国人投資家の債券投資に係る金融取引税(IOF)を4%から6%に引き上げる、と発表しました。これが実施されると、外国人投資家によるレアル建て債券購入時の外国為替取引に6%の税率が適用されることとなります。

また、外国人投資家が債券先物市場で預け入れる証拠金に対する税率も0.38%から6%に引き上げられる、と報じられています。

現時点(日本時間10月19日午前11時)での情報では、株式投資に関しては、税率引き上げの対象外とされています。

実施日

早ければ19日(火)に官報で公示され、即時、実施されることになると報じられています。

金融取引税の追加引き上げの背景とその影響

政府は、10月5日、レアル高抑制のため、外国人投資家の新規のブラジル債券投資に係る金融取引税を2%から4%に引き上げました。しかし、その後もレアルは高止まりを続け、レアルの対米ドル相場は1.65～1.68レアル/米ドルのレンジで推移していました。こうした中で、マンテガ財務相は、レアル高抑制に向けた追加措置として、今月2回目の金融取引税の引き上げを発表したものです。

当局のレアル高抑制に向けた姿勢は堅固であり、今回の金融取引税の追加引き上げによって、少なくとも当面はレアルの対米ドル相場のさらなる上昇は抑えられるものと見られています。実際、10月18日(月)のレアルの対米ドル相場は、前営業日比0.5%レアル安の1.674レアル/米ドルと反落しています。しかしながら、先進国の金融緩和を背景に世界的な金余り現象が続く中で、先進国から新興国に資金が向かう流れ、なかでも世界でも金利水準が高いブラジルに投資資金が向かう構図は容易に変わりそうもありません。

マンテガ財務相は、レアル高抑制のために他の措置を講ずる可能性もある、としており、引き続き当局の動きを注視していきます。

(以上)

※末尾の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をお読みください。

＜関連するファンドに関わる事項＞

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。又、投資信託は、個別の投資信託毎にリスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては「投資信託説明書(交付目論見書)」を良くご覧下さい。

お客様には投資信託のご購入にあたり、以下の費用をご負担いただきます。

○申し込み時に直接ご負担いただく費用

- 申込手数料 上限 3.675%(税込)*

○換金時に直接ご負担いただく費用

- 信託財産留保額 上限 0.5%*

○投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

- 信託報酬 上限年 2.1%(税込)*

○その他費用の詳細は各々の投資信託の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご確認下さい。

*費用の料率につきましては、HSBC 投信が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係る費用はそれぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に良く「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧下さい。

HSBC 投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 308 号

(社)投資信託協会会員/(社)日本証券投資顧問業協会会員

当資料のお取り扱いにおけるご注意

当資料は、HSBC投信株式会社(以下、当社と言います)が情報提供を行う目的で作成したものであり、特定の投資信託等の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は法令に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載された市場の見通し等は作成時点での当社の見解であり、今後予告なしに変更されることがあります。また、当資料に記載された当社の見解等は、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。